

ひなたぼっこ 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果 HP公表

事業所名 ことばの相談室ひなたぼっこ

HP公表日 2024年12月28日

時期:	2024年10月1日～11月25日	職員 討議	2024年11月30日
対象:	上記の時期に利用があった利用者全員		
方法:	評価用紙を利用時に直接手渡し、協力を依頼する。 その場で記入してもらい(スタッフは別室へ移動)、設置した回収箱に入れてもらった。		
集計:	評価は14項目について4段階で評価してもらった。それを点数化(3、2、1、0点)し集計した。合計点は3点×14項目=42点が最高になる。最低は0点になる。 Excel のピボットテーブルを使って分析した。 また、各項目ごとに自由記述欄を設けた。その記述を結果にまとめた。		

結果 1、依頼数と回収数・回収率と合計点の平均は下表の通りだった。

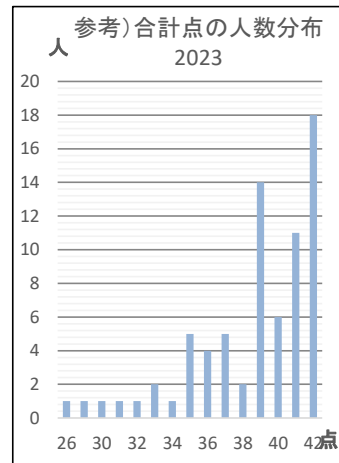
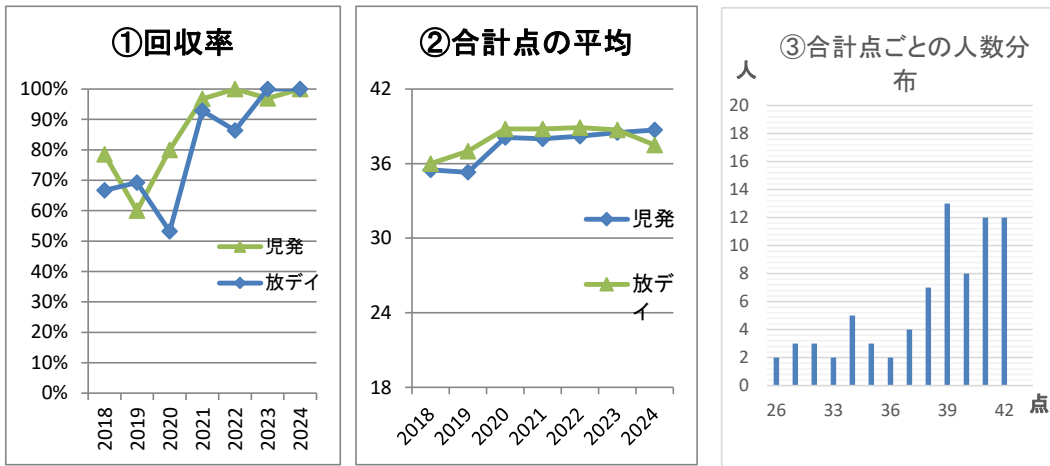
回収率	依頼数	回収数	2018	依頼数	回収数	2019	依頼数	回収数	2020	依頼数	回収数	2021	依頼数	回収数	2022	依頼数	回収数	2023	依頼数	回収数	2024
児発	28	22	79%	25	15	60%	30	24	80%	31	30	97%	28	28	100%	33	32	97%	33	33	100%
放デイ	36	24	67%	39	27	69%	47	25	53%	42	39	93%	44	38	86%	41	41	100%	43	43	100%
合計	64	46	72%	64	42	66%	77	49	64%	73	69	95%	72	66	92%	74	73	99%	76	76	100%

合計点 平均	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
児発	35.5	35.3	38.1	38.0	38.2	38.5	38.7
放デイ	36.0	37.0	38.8	38.8	38.9	38.7	37.5
合計点 の平均	35.7	36.4	38.5	38.4	38.6	38.6	38.0

結果(グラフ①、②、③)

* 回収率は児発・放デイとも、昨年に引き続き高かった。

* 合計点の平均は、児童発達支援と放課後等デイで差はあまりなく、1点以内である。



評価

1. 回収率:

回収方法を変えてから回答率が改善した。今年も高い回収率である。回収率が高いので、結果はほぼ利用者保護者の意向を反映していると言える。

2. 合計点の平均値と、中央値

合計点は2020以降高いレベルを維持している。児発と放デイで合計点平均に昨年まで大きな差はなかったが、今年は放課後デイがやや下がり、児童発達支援がやや上がったので、差が開いた。この傾向が来年も続くのか、注視したい。

合計点の分布は正規分布ではなく、グラフ③のとおり「はい」の方に大変偏っている。42点(満点)が12人であり、39点～42点が43人だった。昨年はこの分布帯が49人だったので、昨年に比べると高得点者数がやや減ったと言える。

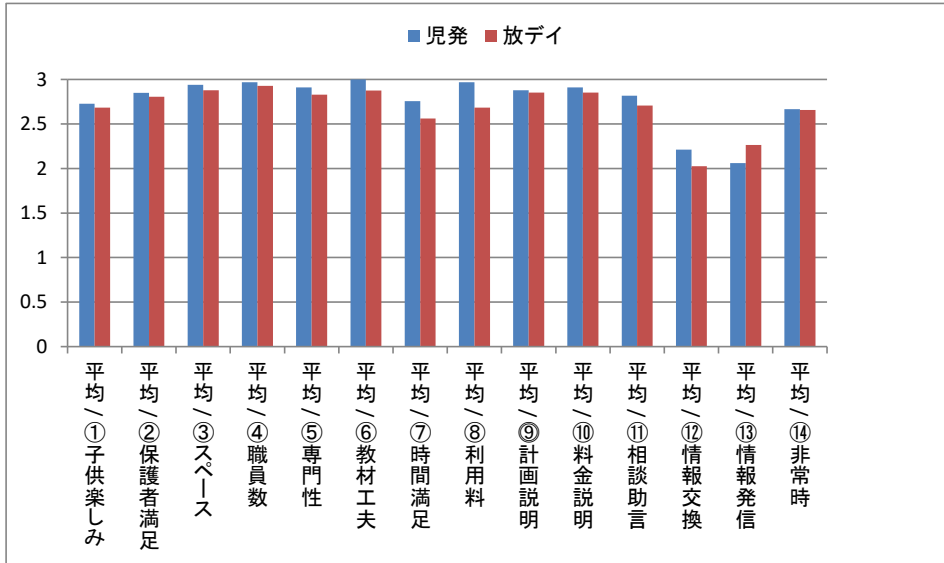
3. 合計点の分布:

(平均点は上記の通りだが、その得点は正規分布ではない)満点の42点が12人と、最も多かった。すべてに満足しているという人である。その次に多いのは39点で、代表的な例として、「利用回数・時間」「保護同士の情報交換」「事業所としても情報発信」の三つの項目で2点をつけたということになる。

昨年は26～34点の低得点帯が8人だったが、今年は同得点帯が15人だった。いくつかの点で満足できていない人が、放課後デイに居たということになる。

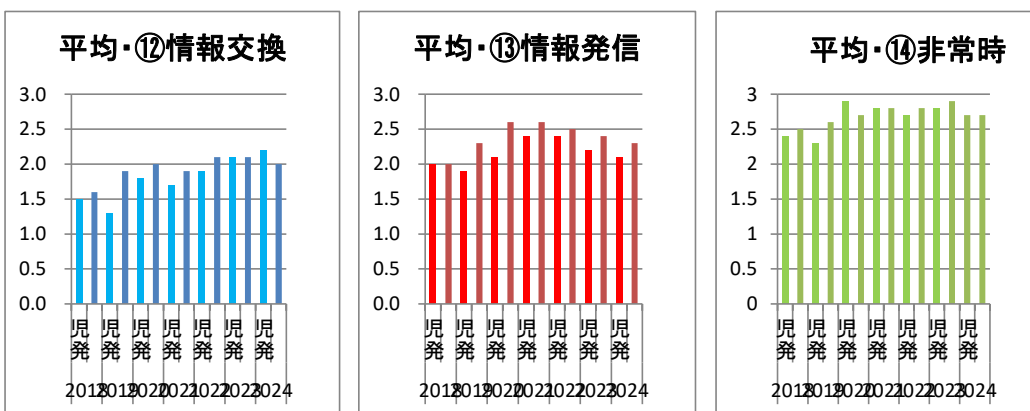
結果 2、各項目ごとの、得点の平均点は下の表と図の通りだった。

値	平均 / ① 子供楽しみ	平均 / ② 保護者満足	平均 / ③ スペース	平均 / ④ 職員数	平均 / ⑤ 専門性	平均 / ⑥ 教材工夫	平均 / ⑦ 時間満足	平均 / ⑧ 利用料	平均 / ⑨ 計画説明	平均 / ⑩ 料金説明	平均 / ⑪ 相談助言	平均 / ⑫ 情報交換	平均 / ⑬ 情報発信	平均 / ⑭ 非常時
児発	2.7	2.8	2.9	3.0	2.9	3.0	2.8	3.0	2.9	2.9	2.8	2.2	2.1	2.7
放デイ	2.7	2.8	2.9	2.9	2.8	2.9	2.6	2.7	2.9	2.9	2.7	2.0	2.3	2.7
総計	2.7	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.6	2.8	2.9	2.9	2.8	2.1	2.2	2.7



* ①「子供の満足度」から⑪「相談助言」までの項目は、3点満点中おおむね2.7点以上で、高評価だった。ただし、⑦時間の満足度が昨年に引き続きやや低得点になった。

	2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024	
	児発	放デイ	児発	放デイ	児発	放デイ	児発	放デイ	児発	放デイ	児発	放デイ	児発	放デイ
平均・⑫情報交換	1.5	1.6	1.3	1.9	1.8	2.0	1.7	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1	2.2	2
平均・⑬情報発信	2.0	2.0	1.9	2.3	2.1	2.6	2.4	2.6	2.4	2.5	2.2	2.4	2.1	2.3
平均・⑭非常時	2.4	2.5	2.3	2.6	2.9	2.7	2.8	2.8	2.7	2.8	2.8	2.9	2.7	2.7



* ⑫「保護者同士の情報交換」が低評価だった。しかし数値としては6年間で改善している。今年児発が引き続き改善したが、放課後デイはやや低下した。

* ⑬「事業所からの情報発信」がやや低評価だった。昨年より低得点だった。

* ⑭非常時の情報発信は20年、21年と改善し、今年はやや低下した。新型コロナが収束し通信発行が減ったのが影響したと思われる。

評価と対策

・⑫「保護者同士の情報交換」が最も低得点であるが続いている。ただし2018年の1.5点台から、この5年間は改善してきて、2.0点前後になって来ている。「保護者のけいじ板」を設置して、情報交換を促している。

・そもそもひなたぼっこは、事業所による送迎サービスはしておらず保護者送迎であり、保護者同室にて療育を行っている。かつ、利用児が2名～3名での小グループ活動なので、保護者同士は話をする機会は他の事業所に比べてとても多い。しかしその時同室になった保護者同士が、必ずしも話しやすいとは限らず、場合によってはあまり自分のこと(または、子どものこと)を話したくないこともある。それは尊重しなければならない。

・そこでひなたぼっこが希望者を募った「保護者のつどい」を土曜日に年間3回、各回90分ほど設定しているのだが、参加者は毎回2～3名と多くはない。土曜日はお出かけや行事もあるのである。来年度は木曜日の午前に開催してみる。

・⑬「事業所からの情報発信」が2番目の低評価項目である。ただしこちらも2018年の2.0点台から改善してきて2.5点前後になっていたが、今年は新型コロナに関する情報発信が減りやや減点したと思われる。紙以外の情報発信が求められる時代になったのであろう。来年度はインスタグラムを検討する。